

第19回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成19年2月

応募者名：奈良県生駒市開発部北部開発課

事業の名称：京阪奈新線関連街路事業
(大淵鹿ノ畑線等街路事業)

実施都市名：奈良県 生駒市

事業の目的

本事業は、大阪湾ベイエリアと関西学術文化研究都市周辺を結ぶ鉄道新線「京阪奈新線（開業後は近鉄けいはんな線）」の開業にあわせて、その終着駅として新設される学研奈良登美ヶ丘駅について、街路事業により交通結節点整備として駅前広場や駅へのアクセス街路を整備することにより、公共交通機関としての利用促進や乗継ぎサービスの向上に努めるものである。

事業概要 (1)

事業名:京阪奈新線関連街路事業(大淵鹿ノ畑線等街路事業)

路線名:大淵鹿ノ畑線(駅前広場等)及び鹿畑駅前線

事業箇所:生駒市鹿畑町地内

事業延長:学研奈良登美ヶ丘駅前広場 $A=8,030\text{m}^2$

鹿畑駅前線 $L=0.71\text{km}$

幅員:鹿畑駅前線 18m

総事業費:約2,170百万円

事業期間:平成15年～平成17年

事業概要 (2)

駅前広場等の整備にあたっては、鉄道事業者と協調してバリアフリー化を進め、またシェルター、照明など道路付属物の意匠・色彩等について駅舎のデザインとの調和を図るとともに、周辺景観にも配慮した。

また、駅周辺で施行された登美ヶ丘駅前土地区画事業(個人施行)と同時に事業を実施することで、一体的にまちづくりを行うことができた。

◎学研奈良登美ヶ丘駅前広場

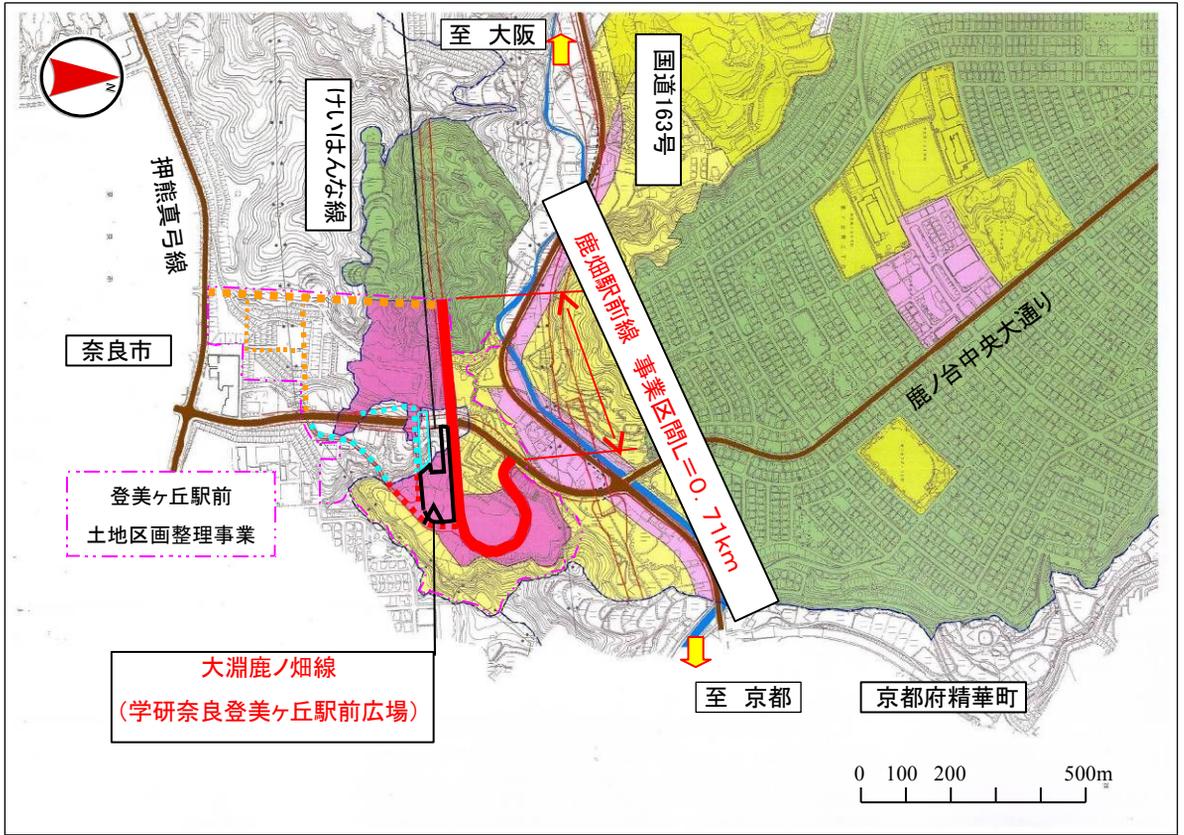
面積 $A=8,030\text{m}^2$ (うち生駒市域 $5,809\text{m}^2$)

バス乗り場4カ所、降り場3カ所、プール2台

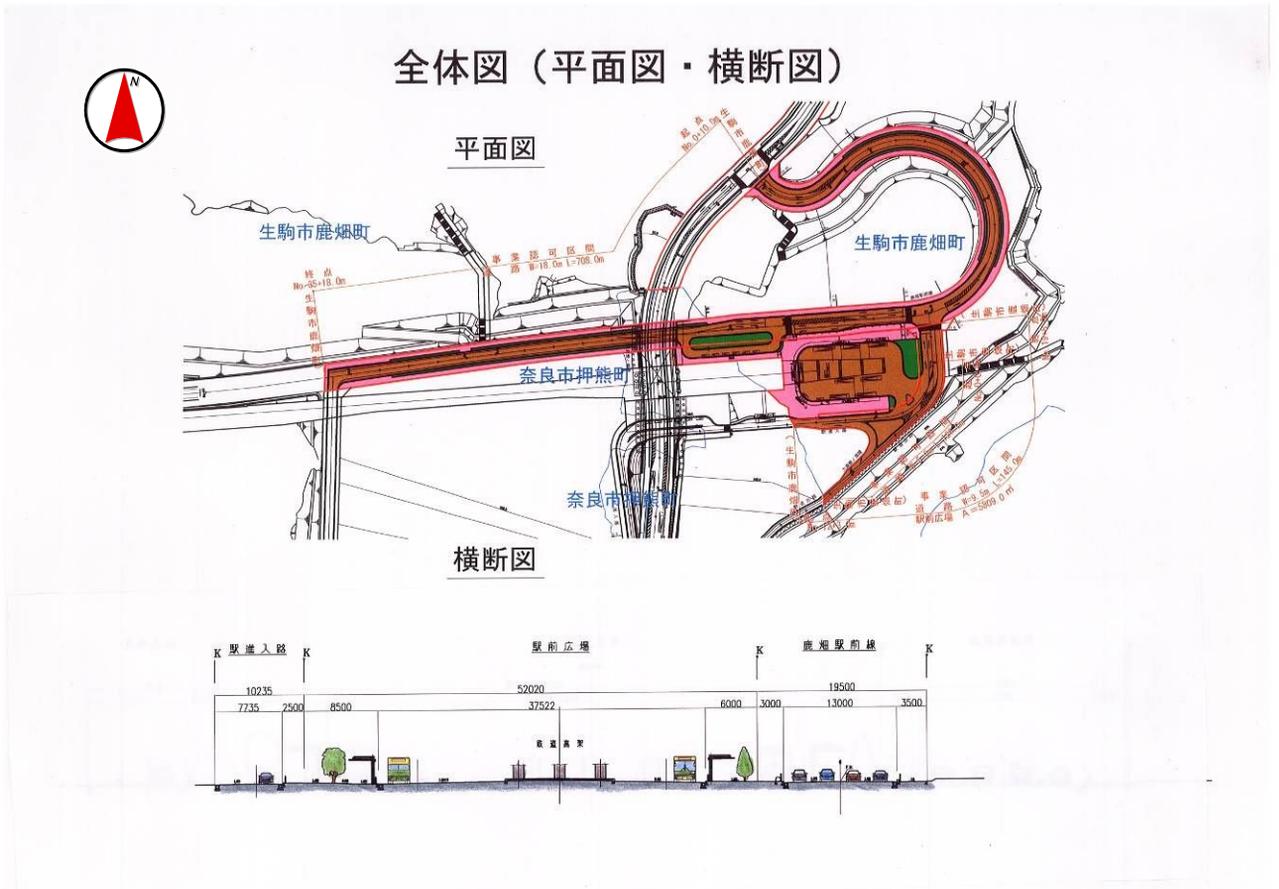
タクシー乗降場各1カ所、プール12台

一般送迎用バース12台

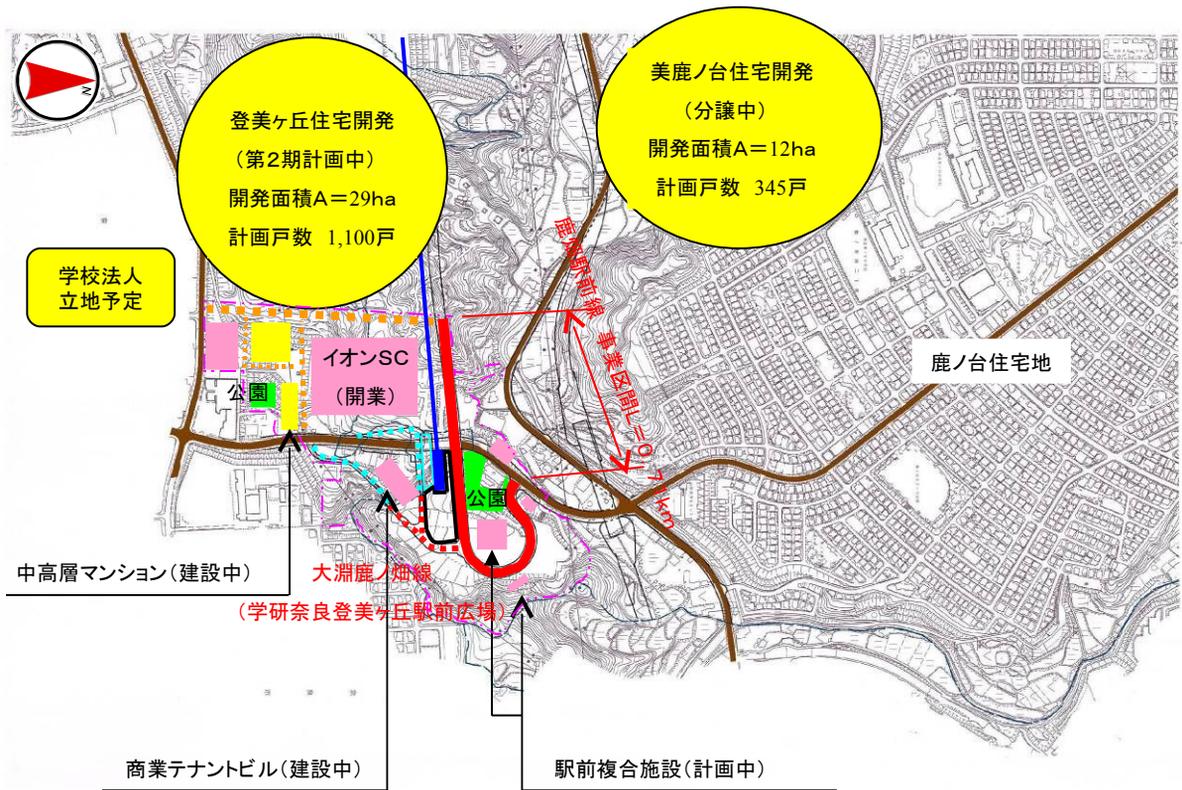
事業位置図



全体図(平面図・横断図)

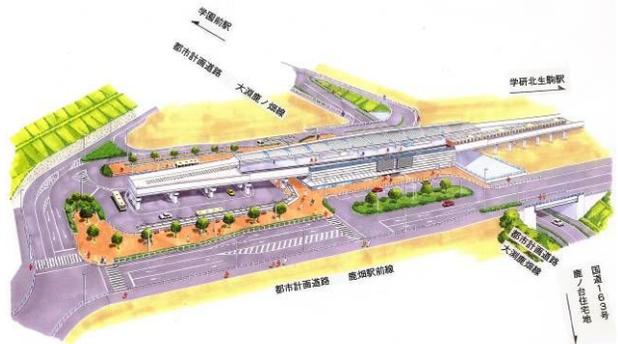


大淵鹿ノ畑線・鹿畑駅前線の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名:京阪奈新線関連街路事業
 路線名:大淵鹿ノ畑線(駅前広場他)
 鹿畑駅前線
 事業箇所:生駒市鹿畑町地内
 事業延長:駅前広場 A=8,030㎡
 鹿畑駅前線 L=0.71Km
 幅員:鹿畑駅前線 18m
 総事業費:約2,170百万円
 事業期間:H15~H17年度



○本計画の計画については、重要事項説明書との協議により変更する場合があります。

学研奈良登美ヶ丘駅前広場 イメージパース

「整備効果」

- 鉄道と道路交通との乗継ぎサービスの向上(通勤時間の短縮)
 周辺住宅地～大阪(本町)間
 約55分→約45分 約10分短縮
- 新規に発生する交通への対応
 路線バス本数 約390本/日
- 周辺まちづくりへのインパクト効果
 駅前商業施設の立地
 イオン奈良登美ヶ丘SC、スポーツ・医療等複合ビル
 中高層マンションの新築 約600戸



事業前:H17.4



事業後:H18.8

平成17年4月撮影



平成17年4月撮影

平成17年4月撮影



平成19年 1月撮影



平成19年1月撮影

平成19年1月撮影

